



遊びは学び 学びは遊び

園長 立石 晃子

令和8年度が始まり1か月が経ちました。私は本園に着任して9年目ですが、初めて砂場の上の藤が咲きました。

年長組の子供たちは「自分たちは園のリーダーですから」とばかり、意欲的に遊びに取り組み、係りの仕事もはりきって行ってくれています。年中組の子供たちは「幼稚園のことは何でも知ってますよ」とばかり、今まで楽しんできたままごとや虫探しをより深めています。新たに仲間入りした年少組の子供たちは「幼稚園の子だからできるもん」とばかり、先生の話聞いて手遊びをしたり砂場や泥山で遊んだり、新しいことに取り組んでいます。



本園は、幼児が「しっかり遊ぶ」ことを大切にしています。しかしながら大人の捉える「遊び」と少し違うかもしれません。幼児の「遊び」は「学び」につながるものです。例えば砂場の遊びですが、サラサラから水を加えると固まるといった砂の特性や重さや量・体積の概念を知る、初めは見立てたり偶然にできたりした形から、同じようにつくりたい、次はこうしようと試行錯誤する、といったことを学びます。現在、令和9年の幼稚園教育要領改訂に向け検討会が行われ、以下のようなことが挙げられています。

- ・ 幼児の遊びには、幼児の成長や発達にとって重要な体験が多く含まれており、自発的な活動としての遊びは、幼児期特有の学習。
- ・ 幼児期は、知識・技能を教え込むことではなく、幼児が幼稚園教諭・保育士・保育教諭等との信頼関係に支えられ、遊びを通して楽しいと感じる多様な体験をしながら、小学校以降の生活や学習の基盤となる資質・能力を育てていくようにすることが重要。
- ・ 一方、一部の幼児教育施設においては、SNS等からの偏った情報やそれらに影響を受けた一部の保護者のニーズ等を優先し、ややもすると、文字や数量の機械的暗記や一方的指導など幼児の発達にふさわしくない教育活動が行われているとの指摘。また、保護者をはじめ社会においては、幼児教育施設はただ遊ばせているだけとの誤解もある。

「今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討会最終報告〈概要〉」（文部科学省 令和6年10月）第2章 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく教育活動の成果と課題等 1. 幼児教育の基本に関する事項（2）自発的な活動としての遊び より

幼稚園で子供たちが遊ぶ姿を見て、何を学んでいるか、学びにつながるよう教師がどのような環境をつくり援助をしているか、ぜひご覧になっていただきたいです。

楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

< 3 歳もも組 >

先生、見て見て！楽しいことがいっぱい！一緒にやろう！

入園して1ヶ月が経ち、子供たちはそれぞれのペースで園生活に慣れ始めています。支度が終わると、自分の好きな遊具や場所で遊びを楽しんだり、教師と一緒に遊びを見付けたりして、思い思いに過ごしています。「先生、見て見て！」「先生、一緒に遊ぼう」という声も聞こえるようになり、少しずつ幼稚園や教師の存在が安心できる場や相手になってきているようで嬉しく思います。教師が子供たちの前で行う手遊びやリズムも、一緒に歌ったり、真似したりする姿が増え、みんなで集まる時間も楽しみ始めているようです。

弁当給食では、みんなでお弁当を食べることを楽しみに、自分なりに意欲をもって支度を進める姿が見られています。「これ、おいしい！」と伝えてくれたり、「いっぱい食べたね」という教師の声掛けに笑顔を見せたりしてくれています。5月は暖かい日差しの下でたくさん遊び、元気いっぱい身体を動かして遊んでいます。

< 4 歳たんぼぼ組 >

たんぼぼ組だからできるよ！いろいろなこと、やってみたいな！

たんぼぼ組になっての1か月は、1つ上のクラスになった嬉しさ、まだ少しドキドキする気持ちが混ざりながらも、張り切って生活したり遊んだりする姿が見られました。保育室では、ピクニックごっこや車ごっこに製作、園庭では虫探しや砂場でのチョコレート作りと、「もうお片付けなの？」と話すくらい、それぞれがやりたい遊びに夢中になっています。年中組になってから使えるようになった、大型シャベルや中型積み木にも、目を輝かせて「やってみたい！」と話し、遊んでいました。「見て！」「私たち、こんなこともできるよ！」と友達と一緒に砂場に池を作ったり、中型積み木で車を作ったりと、遊びへの意欲がどんどん高まっています。

5月は初夏ならではの自然を取り入れながら、子供たちのやりたいことを実現する手助けをし、様々な遊びや友達への興味関心が広がる機会をつくっていきます。

< 5 歳ばら組 >

ばら組って楽しいね♡色々な遊びに挑戦！夢中になるっておもしろい！！

年長組になって1ヶ月が経ちました。昨年度のばら組から引き継いだ係の仕事と、自分たちで考えた新しい係の仕事も張り切って行う姿があります。学級では、ばら組になったから使える道具や玩具で遊べるのがとても嬉しいようで「これは何？」「どうやって遊ぶの？」と毎日発見を「楽しんでいます。今の季節だからできる自然遊びにも夢中になり、「こんな色になったよ！」と色水遊びをしたり、「オタマジャクシは鰹節を食べるらしい」「今は足が生えたから4番目に進化した」などと探究したりしている姿があります。また、グループの友達と作ったこいのぼりは、どんな色やデザインがよいかそれぞれの思いを出し合い作り上げた、みんなの思いが詰まった大作です！自分の思いを出し合えるように経験をたくさん積んで、言葉での伝え方や互いの思いを考え、解決策を一緒に考えていきます。みんなの思いや考えを出し合って、子供たちらしさを一緒に作り出していきます。